

平成29年度 生涯学習・社会教育関係職員研修講座 センター会場

第3回社会教育編「青少年教育」

兼 第3回公民館パワーアップ講座

平成29年11月2日(木) 会場名:青森県総合社会教育センター 第1研修室 受講者数28名

生涯学習・社会教育関係職員研修講座 センター会場 第3回社会教育編「青少年教育」兼 第3回公民館パワーアップ講座を実施しました。

社会教育編では、【青少年教育】・【家庭教育】・【地域活動】の分野に分けて研修講座を構成しており、第3回目は、「マルチステークホルダーとの協働」をテーマに行いました。

講師に、シナプテック株式会社 代表取締役 戸田 達昭 氏を山梨県からお招きし、民間の視点で行政や様々な主体と連携・協働を図るために必要なことを、豊富な経験と実践をもとに御講義いただきました。

講義では、「社会的変化に伴う協働の必然性」・「コーディネーターの重要性」・「インプット・アウトプット・アウトカム設計の重要性」・「CSRからCSVへ」を主なポイントとして様々な事例と合わせてお話され、受講者の誰もが「自分も何かしなければ！」という行動意欲を“その気にさせる”とても熱いものでした。

午後の演習も戸田氏がファシリテーターとなり、演習テーマを「まちづくりはひとづくりから～地域資源を活用した人財育成モデルの構築に向けて～」としてグループワークを行いました。一見難しいテーマながら、“自分たちも楽しむ”というスタンスのディスカッションだったので、飛躍的な発想もたくさん飛び交うとても活気あるものになりました。

講義と演習を通して、「有言即行」という戸田氏の“やる気フレーズ”にもあったように、即座に実践・行動しようとする意欲のエネルギー源をいただいたとても充実した研修講座となりました。

1. 講義：「マルチステークホルダーとの協働」 講師：戸田 達昭 氏

直面する課題には、「少子高齢化」・「人口流出（地方から都会へ）」・「担い手不足」・「コミュニティの低下」等を挙げ、“みなさんならどうします？”という問い掛けから始まりました。さらに、「日本は少子高齢化の先進国と捉えるとどうでしょうか？」という発想の転換を示されました。

多種多様な主体が対等な立場で参加し、協働して課題解決にあたる合意形成の枠組みを『マルチステークホルダー・プロセス』としていますが、社会的変化に伴う協働の必然性は、誰もが認識しなければならない時代になっていて、その行動がこれからの未来を変えていくと話しています。若者との協働では、『やまなしの翼プロジェクト』の活動を例に、様々な人たちを“巻き込む”という「取り組みの仕掛け」を紹介してくださいました。

コーディネーターの重要性においては、「いろいろな価値軸を持つこと」で、【継続性～連続性～中毒性へ】という地域の担い手をコーディネートして地域を変えていくこととしています。さらに、アウトカムについては、「なぜ取り組むのかを明確化し共有する」ことで、「知恵を持った社会を生き抜く力を持った人財」へとつなげることが重要だと話されました。

『やまなしの翼プロジェクト』とは、「新しい公共時代の若者参画型の地域づくりモデルの構築」と「生涯学習をテーマに、知をベースとした協働モデルの構築」を目的とした組織です。

《 講義の様子 》



2. 演習：「まちづくりはひとづくりから～地域資源を活用した人財育成モデルの構築に向けて～」

ファシリテーター：戸田 達昭 氏

演習のイントロダクションとして、

【序盤】各地域に存在する地域資源の現状と課題は何か（ひと・もの・こと）

⇒ 現状の課題などを意識して議論

【中盤】どのような場や仕掛けがあれば課題を解決できるか。

⇒ 課題を解決するためにはどうしたらよいか

【終盤】私は何をやるのか。どのようにそれを実現していくのか。

⇒ 参加者による具体的な関わり方の検討・実行プランのコミット

が示されました。

3つのグループに分かれてグループディスカッションをしましたが、特に【中盤】部分では、発想が飛躍的で、話し合っている間に“本気でできるかも！？”という意欲が高まり、【終盤】部分の実行プランも相当具体的な話にもなって大変盛り上がりました。

《 演習の様子 》



3. 受講者の感想

- ・講師が素晴らしく、毎日でも話を聞きたいです。若い人たちにも「聞かせたい！」と強く思いました。
- ・今ある公民館の講座を、さらにパワーアップできそうに感じたので、今後に生かしていこうと思います。
- ・楽しかったです。このような企画ならたくさんやって欲しいと思いました。
- ・自分のできることを探し、行動したいと思います。「有言即行」を心掛けたいです。

【講師紹介】



とだ たつあき

戸田 達昭 氏 (シナプテック株式会社 代表取締役)

山梨大学大学院在学中に株式会社設立。代表取締役就任

中央教育審議会生涯学習分科会委員就任。

教育関連機関、地城市民団体の代表・委員を歴任

やまなしの翼プロジェクト代表

著書… (財) 日本青年館「社会教育」、(一社) 全国社会教育委員連合「社教情報」

